

三十二年余ぶりの社会復帰

被保護者（62 歳）

早いもので婦性会に入所してからもう一ヶ月が過ぎる。内心、最初の第一日目色々な意味で緊張した。これから一ヶ月社会見学を含め仮釈放の実施に対応する為の生活をするのだと、思うとより一層気が引き締まる思いだった。でも、その喜憂は一日でなくなった。

施設長との何年かぶりの再会：懐かしかった。私は、バンド活動や懲罰委員会での面接等いろいろなと指導も受けていたので尚更良く覚えていた。そんな施設長の元、生活し易い毎日でもあった。

一週間以内で免許更新、住民票等の手続きを済ませたはいいが、残りの 3 週間近くは実際のところ退屈というか毎日がたいへんだった気がする。

東京や千葉の各地を毎日のように交通手段や自転車等を使って見学した。三十年の歳月はひと昔もふた昔も私を浦島太郎にしてしまったていた。ビルの群、人、人の波、自動車、交通機関の増大には、まず目をみはった。

携帯電話が実生活にしめる重要性を痛感。カードの普及、全てがコインか紙幣で売買できる商売や買物システム。百円均一等の格安な店の状況、物品の溢れる程の量に惑い、テレカによる電話にもようやく慣れた。

酒、煙草は、今のところ、一滴、一本も吸飲

なし嫌煙ではないが今、煙草のけむりが妙に嫌でたまらない。このまま多分止められると確信している。

酒は何故か飲むのが怖い気がする。何か急性アルコール中毒にでもなつて身体がどうにかなりそうな気がするので今のところ飲まないままで行こうと思っている。

長期の者はせつかく一ヶ月間もあるので何かボランティアなことでも良いのでミーティングや何にかのスクーリング等の指導や起業の斡旋をどんどんして欲しいと思う。

私も機会があったが結局起業まで行かなかった。たとえ一日、二日でも働くことの重みや日給等の実感を味合いたかったと思う。

下志津駐屯地内の調理仕事は是非やりたかったのだが夏からだというのでダメになった残念でもある。

これから京都へ帰り、母、姉の元、生活しながら神戸の兄弟弟子のところに、半月でもいいから、調理見習いのつもりで、現在の起業事情を勉強して一日も早く、ホテルか旅館、料亭等に起業したいと思う。

若いと思っても身体が結構動かない気もするが、何とか気力を振り絞り頑張りたいと思う。まず起業に従事すること、これが更生の第一歩と考えている。

新しい出発に際し、短い間ではありましたが施設長はじめ職員皆様の温かいご指導改めてお礼申し上げます。(原文のとおり)

役員のスレ顔



千葉県婦性会 理事
齊藤 雅次

今号では、千葉県婦性会の理事のお一人である齊藤雅次先生をご紹介します。

先生は、昭和二十二年 第二十三回箱根駅伝大会に中央大学チームの往路第二区の走者として出場されました。当時は砂利道をマラソン足袋で走られたとのこと、長い距離を一時間十七分三〇秒で走られ区間五位の成績に。

中央大学の成績は、十四時間四三分四五秒。優勝の明治大学にはわずか五七秒の差で二位となり、とても残念だったとのことでした

ちなみに八十一歳になられた現在も、大変お元気で活躍されています。



箱根駅伝 (昭和 22 年 第 23 回)